

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

<p>[めざす学校像]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「質実剛健」にして「文武両道」に励む生徒を育てる学校 2 母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校 3 「骨太の人格」を備え21世紀を支える人材をつくる学校 <p>[生徒に育みたい力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夢と志を語る力（社会に貢献する自分を想像する力／目標を具体的に語る力） ○ 努力し続ける力（全力で学び続ける力／貪欲に挑戦し続ける力） ○ 人権を尊重し人と繋がる力（仲間をつくる力／仲間を支える力／仲間を率いる力） <p>[教職員に望む力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チームの一員として自らの役割を自覚し「生徒に育みたい力」を身につけさせる力（豊かな人間性・実践的な専門性・開かれた社会性） 	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>質実剛健：夢実現のため躊躇せず挑戦しへこたれず諦めず地道に努力する気質 文武両道：勉強にも部活動にも行事にも真剣に全力で取り組むこと 骨太の人格：基本がしっかりとっていて決してぶれない心と体</p> </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>夢：将来実現させたいと思っ描いている願い 志：心に思い定めたある方向をめざす気持ち</p> </div>
--	--

2 中期的目標

1	「夢と志を語る力」の育成	<p>(1) 確かな学力の定着と系統的な進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応） ⇒ 進路指導満足度をR8年度に90%以上の維持 (R3:84.7% R4:86.9% R5:90.6%)</p> <p>(2) 同窓会の人的資源活用のさらなる推進</p> <p>(3) 大教大教職コンソーシアム事業への参加促進／有識者による講演の充実</p> <p>(4) アドバンス教育コースの充実</p> <p>(5) 進路実現満足度の向上 ⇒ 満足度80%以上をR8年度まで維持／その結果、国公立大現役進学者数をR8年度に70人(25%) (R3:55人 R4:64人 R5:83人)</p>
2	「努力し続ける力」の育成	<p>(1) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R8年度まで92%以上の維持 (R3:94.4% R4:94.5% R5:96.8%)</p> <p>(2) 課外学習時間の増加 ⇒ R8年度には2時間10分/人・日 (R3:1時間54分 R4:1時間43分 R5:1時間33分)</p>
3	「人権を尊重し人と繋がる力」の育成	<p>(1) 学校教育自己診断「生徒会行事への積極的取組姿勢」肯定率 ⇒ R8年度まで92%以上の維持 (R3:96.1% R4:96.4% R5:98.2%)</p> <p>(2) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R8年度まで92%以上の維持 (R3:94.4% R4:94.5% R5:96.8%)</p> <p>(3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実</p> <p>(4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止</p>
4	「チーム八尾高」を支える教員力の向上	<p>(1) 学校経営計画中期的目標を踏まえた目標設定（全教職員）と高い同僚性を基盤とした業務の推進</p> <p>(2) 経験年数の少ない教員を育てるOJTの充実と教職員間のコミュニケーションのさらなる活性化</p> <p>(3) 授業力向上のための取組みの充実による授業アンケート結果平均の向上 ⇒ R8年度には3.5 (R3:3.42 R4:3.40 R5:3.41)</p> <p>(4) 「学校における働き方改革の取組み」による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充</p> <p>(5) 大学入学者選抜改革に即応できる教員力の向上</p>

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和6年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R5年度値]	自己評価
1 「夢と志を語る力」の育成	(1) 系統的な進路指導 (2) アドバンス教育コースの充実と府立高校教職コンソーシアム事業への参加者数拡充 (3) 進路実現満足度の向上	(1) 教員の進路指導力の向上 (2) 将来構想検討委員会の「アドバンス教育コースの充実PT」により、昨年度の提言を受け、令和7年度実施に向けて具体化する。府立高校教職コンソーシアム事業に参加することのメリットについて1、2年生全員に周知徹底 (3) 講習の充実と教員の進路指導力向上	(1) 学校教育自己診断(生徒)の「進路指導満足度」を85%以上維持 [90.6%] 国公立大現役合格者数 65人(23.6%) [83人 30.3%] 進路指導力向上研修4回 [4回] (2) 新「アドバンス教育コース」の具体化 府立高校教職コンソーシアム事業参加 生徒数を45人以上 [52人] (3) 進路実現満足度 80%以上の維持 [83.3%]	
2 「努力し続ける力」の育成	(1) 高い部活動入部率の維持 (2) 課外学習時間の増加	(1) 部活動体験 Week の実施/学校説明会における部員の活用 (2) 「八尾高版進路マップ(3年間の進路指導計画)」に沿った進路指導で学習意欲の向上を図る	(1) 入部率 94%以上の維持 [96.8%] (2) 課外学習時間平均2時間以上 [1時間 33分]	
3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成	(1) 主要学校行事満足度の向上 (2) 高い部活動入部率の維持 (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実 (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止対策の充実	(1) 生徒主体の主要学校行事(文化祭・体育祭等)企画・運営をより一層推進 (2) 2(1)に同じ (3) 地域や近隣学校園との連携促進 (4) 当事者を講師とした講演会等を通じた人権教育の充実/教育相談係会の機能強化(個別の支援計画の作成主体として学年と連携)/いじめ防止委員会の定例開催と迅速正確な事象対応	(1) 学校教育自己診断(生徒)の「生徒会行事積極的取組姿勢」肯定率 95%以上を維持 [98.2%] (2) 2(1)に同じ (3) 地域、学校園等関係機関との連携事業 実施回数 30回以上を維持 [47回] (4) 学校教育自己診断(生徒)「人権教育肯定率」85%以上維持[79.1%]/学校教育自己診断(生徒)「いじめ対策満足度」85%以上の維持[91.6%]	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上</p>	<p>(1) 同僚性の高い教職員集団の形成</p> <p>(2) 授業力向上のための取組みの充実</p> <p>(3) 学校における働き方改革の取組み</p> <p>(4) 同窓会や報道機関と連携した戦略的広報活動の展開</p>	<p>(1) 「<u>将来構想検討委員会</u>」による本校の課題（<u>アドバンス教育コースの充実、部活動と学習時間のバランス、教職員の交流の場の構築、前・後期制のメリットの検証等</u>）に取り組む 教頭・首席・各分掌における仕事の見える化と仕事量の調整及び人材の育成</p> <p>(2) 年2回の授業見学及び公開授業の実施 授業力向上研修（工夫のある授業の紹介、<u>クロムブック活用等研修含む</u>）</p> <p>(3) 学校部活動方針（休養日等）の遵守及び全校一斉退庁日を遵守し、教職員の長時間勤務を縮減する。</p> <p>(4) <u>ホームページ等を活用した情報発信</u>とJR八尾駅経由で通学する生徒の取り込み／卒業生や保護者の協力を得た学校広報活動の展開</p>	<p>(1) 学校教育自己診断（教職員）の「学校運営への教員の意見反映」肯定率 80%以上 [54.5%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長の考え方明示」肯定率 90%維持 [87.3%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長のリーダーシップ発揮」肯定率 80%以上 [76.4%]</p> <p>(2) 授業見学及び公開授業（年2回） [2回] 授業力向上研修（対面での研修1回以上） [1回] 授業アンケート結果平均の向上 [3.41]</p> <p>(3) 全校一斉退庁日の実施割合 95%めざす [91%] 超過勤務時間を前年度比5%縮減 [13.%増加] 年間時間外在校時間720時間以上教職員の半減めざす [10人]</p> <p>(4) 志願倍率 1.25 倍以上 [1.08]</p>	
---	--	---	--	--